

旅館業における荷姿の物を起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017 年 発生 月	時間	死傷災害発生事例	年 齢	労 働 者 規 模
1	10～ 11	客室において清掃作業中、回収した酒の空き瓶（1合）1本を入れたゴミ袋を持ち、次の部屋に移動していたところ、袋がブラブラと安定しておらず、瓶の底が左膝下部に激しくぶつかってしまい負傷した。	61	50 ～ 99
1	13～ 14	ホテル7階清掃担当にて、シーツ、タオル他1室ごとにまとめてリネンシューターより1階の倉庫に落とす時に、鉄の扉で強く人指し指を挟んだ。扉が閉まるのと、手を引く時間の差がなかった、または勢い良く閉まったためと思われる。	62	30 ～ 49
2	14～15	被災者は、レストランホールの洗い場にて、食器入りの食品カゴ（重量：約7.5kg）を食器棚に戻そうと食器棚へ運んでいる途中、カゴを落としそうになった為、足を踏ん張ったところ、右膝をひねってしまい右膝関節靱帯を損傷した。	24	100 ～ 299
2	13～14	清掃作業中、ソファ（50kg）をベッドに変換させるため移動させようと力を入れた際、突然腰中央部分に激痛が走った。	52	1～ 9
2	22～23	ホテル内宴会場バックヤードにて簡易舞台（ステージ）と、空ビールケースを運搬中、一時的に仮置きをしていたステージが倒れそうになり阻止するべく手を差し出したところ、重さに耐えられず地面との間に挟まれ負傷する。	52	300 ～ 499
7	15～16	従業員エレベーター前にて、業務終了前にホテル内従業員エレベーターに乗り込もうとした際、同僚の清掃スタッフに声をかけられ振り返った際に足元に置いてあった段ボール箱に躓き転倒し左膝をぶつけてしまった。退社打刻後腰を掛け休んでいたが、痛みが引かなかった。	69	50 ～ 99
7	19～20	私は常に厨房の中で仕事をしている。いつものようにお米を洗い終わり下に（たき口）おろそうとした時背中に向けてこれ迄に味わったことのない痛みが走り、その	65	1～

		後夜になり痛みがくすりをのんで湿布を貼っても痛みがおさまらず、検査を受け圧迫骨折という診断を受け療養中である。		9
7	18～ 19	従業員食堂のゴミ箱の中のビニール袋を取り出した際に、ゴミの重みによりふらつき、ビニール袋に足を取られ転倒した。	66	100 ～ 299
7	19～ 20	会員制サロン内で、ディナーショーの接客が終わり片付け作業中、ワゴンへ重たい物（お皿や様々な器具）の入ったカゴを移す作業をしているときに、膝に何度かカゴをぶつけた。その後、宴会サービスから借りていたものを返す際、走って返しに行き、店舗に戻った時に痛みが出てきた。痛いまま勤務を継続し、退社後、自宅に着いてから立ち上がれず、右足が動かなくなった。	21	500 ～ 999
7	10～ 11	2階宴会場バックヤード通路にて移動中、通路の中程で作業中だった別の作業員を避けて通ろうとした際、通路脇にあった配膳用トレイに右足つま先の辺りを引っ掛けてしまい転倒した。転倒時に額の右側と右膝を床に打った。その後も業務に従事したが、帰宅後に痛みが強くなった。	68	100 ～ 299
9	20～ 21	地下1階洗い場にて、陶板（1個約280g）を洗いあげ、これを収納ケース1箱に120個入れ、高さ120cmの台車の上に格納しようと床面より持ち上げたところ、この収納ケースが本人側に傾き、ケースの縁の部分が右胸部を圧迫した。このとき、右胸部を骨折した。本来、この業務は収納ケースに50個を目安収納しているが、倍以上の個数を収納したため、重みにたえきれず、収納ケースが傾いたことによる事故であった。	56	10 ～ 29
9	19～ 20	2階調理場の冷蔵庫に入室し、フルーツの入った箱を持ち冷蔵庫から出ようとした際に、足元にあった箱に躓き転んで左膝を強打。その日は様子を見ながら帰宅したが、腫れと内出血がひどいため、後日病院でMRIを撮った。	54	30 ～ 49
9	10～ 11	上記日時、当社駅前において客室清掃作業中だった。客室内を移動中に床に置いてあった拭き掃除用アルコール（容量500ミリリットル入リスプレー型ボトル）の容器を踏んでしまい、体勢を崩して左足を捻りながら転倒し負傷した。被災当時は痛みがあったが我慢しながら最後まで就労し、帰宅時になって痛みが酷く歩行困難になった為受診した。	56	10 ～ 29

9	5～6	フロントバックヤードで、FAX機付近に箱が置いてあり、その箱につまずき前方に転倒。右手を床についた際、骨折した。	66	10 ～ 29
9	8～9	派遣先で、2階の接待部屋を出る際に、入室をする方とぶつかりそうになったため、避けたところ、段ボールにぶつかり、無理な体勢になってしまい、右側の股関節を痛めたものである。	22	50 ～ 99
9	13～14	6階ベルデスク横で、二段になって台車に積まれた大きめスーツケース7～8個から1つを上段から下ろし、サイズを測ろうとしゃがんだ際に腰に激痛が走りその場に倒れそうになったが、なんとか壁などを伝いバックスペースまで動いたところでその場で動けなくなってしまった、すぐに救急車を呼び搬送された、恐らく当日の朝にトラックに運ばれてきた団体客のスーツケース100個前後のうち40～50個前後をトラックから下ろし台車にのせ、運びまた台車から下ろし…などの作業をしたことも影響していると思われる。	40	300 ～ 499
11	10～11	バイクに乗ったまま右手で投函しようと高い位置にあるお客様宅ポストに体を伸ばしながら左に捻った際に、くしゃみをしたため左脇腹に力が入り左の肋骨を骨折してしまった。	55	10 ～ 29
11	20～21	洗い場で洗浄済みの食器が入った金属製のラックを持ち上げようとした際、ラックの取っ手と食器の間に指を挟んでしまった。	69	50 ～ 99
12	15～16	客室のベッドメイキング中、ベッドを動かした時に腰に痛みが走った。	51	1～ 9
12	21～22	お客様のお預かりスーツケースをバゲッジルームからベルデスク前まで運び、お渡ししようとした際、お客様が玄関方面へと急に急がれた為、ついていこうと荷物を持ち上げた際、腰に電気が走り、動けなくなった。	28	500 ～ 999
		ホテル客室の玄関で、お客様のスーツケースを部屋の中へ運び入れようとした。両手でスーツケースの取っ手をつかんで、玄関の踏み台（段差10cm）の上にスーツケースを持ち上げようとしたが、スーツケースが重かった事と、足袋を履いてい		50

12	15~16	た右足が草履の上で滑ってしまい、スーツケースが持ち上がらずに、そのまま自分 に向かって倒れてきた。（まるで人間が入っているかのような重さであった。） 結果、自分は立ったままの状態、スーツケースが自分の左足の上に押し掛かって きて、左足の太ももの外側の骨を骨折し、太ももに青アザもできた。	77	～ 99
12	8~9	勤務先のホテル料飲部での出庫作業時に、瓶の入ったケースや廃棄物等の重量物を 運搬したことにより、腰および背中全体に損傷が発生した。	23	500 ～ 999
12	15~16	玄関から2F客室までお客様のスーツケースを運んでいたとき、階段で手元がゆる み左足の親指の上にスーツケースを落とし、親指の爪が割れ内出血した。	34	30 ～ 49

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html